



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年11月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ミツバ

コード番号 7280

URL <http://www.mitsuba.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長瀬 裕一

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 (氏名) 武 信幸 (TEL) 0277-52-0113

四半期報告書提出予定日 平成29年11月8日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績 (平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	163,045	2.4	6,891	△35.4	7,667	8.8	△7,961	—
29年3月期第2四半期	159,266	△1.3	10,667	7.9	7,045	△28.3	2,178	△60.3

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 △6,151百万円 (— %) 29年3月期第2四半期 △11,029百万円 (— %)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	△177.87	—
29年3月期第2四半期	48.67	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	332,205	85,999	21.2
29年3月期	329,391	93,304	23.7

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 70,529百万円 29年3月期 78,081百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	—	—	15.00	15.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	16.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想 (平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	377,000	14.9	18,500	△18.5	19,500	△3.5	△6,000	—	△134.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 10「3. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

30年3月期2Q	45,581,809株	29年3月期	45,581,809株
30年3月期2Q	823,376株	29年3月期	823,307株
30年3月期2Q	44,758,421株	29年3月期2Q	44,758,760株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

当社は、平成29年12月1日にアナリスト向け説明会を開催する予定であります。この説明会で配布する決算補足説明資料については、開催後当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用情勢や所得環境の改善などから、景気は緩やかな回復基調で推移しました。一方、世界経済は、米国の景気は金融市場の変動影響等が懸念されるものの、雇用環境の改善に伴う個人消費の増加を中心として回復が続いております。また、中国やその他新興国では、景気は持ち直しの動きが見られました。欧州主要国の景気は、地政学的リスク、政策に関する不確実性の影響等が懸念されます。

このような環境のなか、当社グループの連結売上高は1,630億45百万円（前年同期比2.4%増）となりました。自動車販売は、米国で8年振りに前年実績を下回りました。しかし、日本の新型車効果の維持と中国での日系車販売が好調を維持し、前期比で増収となりました。連結営業利益は、材料費の高止まりと不具合対応費用の増加で、68億91百万円（前年同期比35.4%減）、連結経常利益は、主に為替差損の減少で、76億67百万円（前年同期比8.8%増）、集団民事訴訟の原告団の一部と和解金107億52百万円で合意し、特別損失として過年度損失計上との差額分の和解金82億78百万円を計上いたしました。また、米国でのワイパーリコールの対応で22億49百万円を製品保証引当金繰入額として特別損失に計上し、親会社株主に帰属する四半期純損失は79億61百万円（前年同期は21億78百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

セグメント情報は次のとおりです。

輸送用機器関連事業は、インドネシアでの二輪車販売が低調で推移しましたが、中国と日本で四輪車販売が好調を維持したため、売上高は1,565億22百万円（前年同期比2.4%増）となりました。セグメント利益は、品質対応費用の発生により、65億94百万円（前年同期比36.2%減）となりました。

情報サービス事業は、ソフトウェア開発、システム販売分野並びにデータセンター分野が堅調に推移し、売上高は59億20百万円（前年同期比0.6%増）となり、セグメント利益は99百万円（前年同期比18.5%増）となりました。

その他事業は、売上高は29億64百万円（前年同期比73.1%増）、セグメント利益は1億73百万円（前年同期比24.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①財政状態に関する分析

当第2四半期連結会計期間末における資産の合計は、3,322億5百万円（前連結会計年度末3,293億91百万円）となり、28億13百万円増加しました。流動資産は1,968億63百万円となり7億79百万円増加し、固定資産は、1,353億41百万円となり20億34百万円増加しました。

流動資産は、棚卸資産が18億12百万円増加したことが主な要因です。固定資産は、機械装置及び運搬具が24億94百万円増加したことが主な要因です。

当第2四半期連結会計期間末における負債の合計は、2,462億5百万円（前連結会計年度末2,360億87百万円）となり、101億18百万円増加しました。流動負債は、1,479億26百万円となり193億76百万円増加し、固定負債は982億78百万円となり92億57百万円減少しました。

流動負債は、短期借入金が122億8百万円増加したことが主な要因です。固定負債は、長期借入金が92億89百万円減少したことが主な要因です。

当第2四半期連結会計期間末における純資産の合計は、859億99百万円（前連結会計年度末933億4百万円）となり、73億4百万円減少しました。これは利益剰余金の減少が主な要因です。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ13億46百万円減少し729億16百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、74億41百万円（前年同期は142億62百万円）となりました。この主な要因は、減価償却費79億67百万円と、売上債権の増減額28億62百万円です。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動に使用した資金は、100億34百万円（前年同期は101億75百万円）となりました。この主な要因は、有形固定資産の取得による支出92億48百万円です。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動で得られた資金は、2億43百万円（前年同期は10億29百万円の支出）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の業績見通しにつきましては、売上高は上期とほぼ同じ水準で推移するものと見込まれます。収益面は品質不具合対応費用の抑制に加え、内製化を中心としたコスト改善の推進を行います。また、平成30年3月期の連結決算につきましては、効率的な連結事業運営と経営判断の迅速化を目的として、海外連結子会社の決算期を親会社の決算期3月期に合わせます。通期連結業績予想には、決算期間を統一させるため、平成30年1月1日から3月31日の3ヶ月間の見通しを織込んだ予想となっております。3ヶ月影響は、売上高520億円、営業利益及び経常利益が26億円、親会社株主に帰属する当期純利益15億円を織込んでおります。自動車販売が下半期の新車効果も見込まれ日本を中心に回復傾向が予想されます。しかし円高の継続など懸念材料もあり、当下半期の業績に対して当初想定より厳しいことが見込まれます。

このような状況から、業績予想の見直しを行った結果、平成29年5月10日に公表しました平成30年3月期の業績予想を、以下の通り修正します。

詳細につきましては、本日公表いたしました「平成30年3月期第2四半期累計期間業績予想値と実績値との差異及び通期業績予想の修正並びに特別損失の発生に関するお知らせ」をご覧ください。

通期の連結業績予想

売上高	377,000百万円	(前回予想	320,000百万円)
営業利益	18,500百万円	(同	23,000百万円)
経常利益	19,500百万円	(同	23,000百万円)
親会社株主に帰属する			
当期純利益	△6,000百万円	(同	7,000百万円)

(参考)

通期の個別業績予想

売上高	144,000百万円	(前回予想	145,000百万円)
営業利益	△1,900百万円	(同	2,500百万円)
経常利益	11,700百万円	(同	8,000百万円)
当期純利益	1,000百万円	(同	2,000百万円)

なお、為替レートにつきましては、当連結累計期間では1米ドル＝110円、1ユーロ＝120円を想定しております。

業績予想は現時点において入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

特定子会社の異動はありませんが、第1四半期連結会計期間より、(株)三興エンジニアリング、コルポランオン・タツミ・デ・メヒコ・エス・エー・デ・シー・ブイ、ミツバ・オートパーツ・ド・ブラジル・インダストリア・リミターダを連結の範囲に含めております。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	75,789	74,492
受取手形及び売掛金	56,988	54,722
有価証券	100	99
商品及び製品	17,135	12,328
仕掛品	4,291	5,043
原材料及び貯蔵品	20,327	26,195
繰延税金資産	4,902	4,414
その他	16,615	19,645
貸倒引当金	△66	△79
流動資産合計	196,083	196,863
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	63,439	65,557
減価償却累計額	△40,390	△41,125
建物及び構築物（純額）	23,048	24,431
機械装置及び運搬具	131,103	136,746
減価償却累計額	△99,637	△102,785
機械装置及び運搬具（純額）	31,466	33,961
工具、器具及び備品	48,324	48,386
減価償却累計額	△43,853	△43,719
工具、器具及び備品（純額）	4,470	4,667
土地	6,268	6,975
リース資産	4,785	4,827
減価償却累計額	△1,969	△2,052
リース資産（純額）	2,815	2,774
建設仮勘定	9,910	10,787
有形固定資産合計	77,980	83,596
無形固定資産		
ソフトウェア	4,402	4,182
ソフトウェア仮勘定	174	166
その他	1,952	1,924
無形固定資産合計	6,529	6,274
投資その他の資産		
投資有価証券	31,432	28,186
長期貸付金	3,609	2,615
繰延税金資産	1,811	2,355
長期前払費用	401	1,261
退職給付に係る資産	9,342	9,690
その他	2,351	1,511
貸倒引当金	△150	△150
投資その他の資産合計	48,797	45,470
固定資産合計	133,307	135,341
資産合計	329,391	332,205

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	30,513	31,221
短期借入金	51,722	63,931
未払金及び未払費用	24,988	34,563
未払法人税等	1,713	1,418
賞与引当金	4,573	4,525
役員賞与引当金	65	77
製品保証引当金	4,057	4,669
損害補償損失等引当金	3,352	800
その他の引当金	434	542
その他	7,127	6,176
流動負債合計	128,550	147,926
固定負債		
長期借入金	95,931	86,642
長期末払金	3,377	3,232
繰延税金負債	4,078	4,369
退職給付に係る負債	1,233	1,193
その他	2,915	2,841
固定負債合計	107,536	98,278
負債合計	236,087	246,205
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,885	9,885
資本剰余金	15,592	15,593
利益剰余金	52,011	43,677
自己株式	△601	△601
株主資本合計	76,888	68,553
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,406	3,813
為替換算調整勘定	△2,169	△1,947
退職給付に係る調整累計額	△44	109
その他の包括利益累計額合計	1,193	1,976
非支配株主持分	15,222	15,470
純資産合計	93,304	85,999
負債純資産合計	329,391	332,205

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
売上高	159,266	163,045
売上原価	133,107	140,327
売上総利益	26,158	22,718
販売費及び一般管理費	15,491	15,827
営業利益	10,667	6,891
営業外収益		
受取利息	235	295
受取配当金	277	251
持分法による投資利益	340	394
為替差益	—	186
その他	401	712
営業外収益合計	1,255	1,840
営業外費用		
支払利息	668	686
為替差損	3,765	—
その他	444	378
営業外費用合計	4,877	1,064
経常利益	7,045	7,667
特別利益		
固定資産売却益	291	13
その他	11	6
特別利益合計	303	19
特別損失		
固定資産除却損	158	104
減損損失	5	7
製品保証引当金繰入額	—	2,249
取引調査関連損失	523	312
和解金	—	8,278
その他	111	193
特別損失合計	799	11,144
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	6,549	△3,457
法人税等	3,134	3,178
四半期純利益又は四半期純損失(△)	3,415	△6,636
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,236	1,324
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	2,178	△7,961

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	3,415	△6,636
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△563	421
為替換算調整勘定	△13,685	△146
退職給付に係る調整額	239	157
持分法適用会社に対する持分相当額	△435	53
その他の包括利益合計	△14,444	484
四半期包括利益	△11,029	△6,151
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△10,969	△7,178
非支配株主に係る四半期包括利益	△59	1,026

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	6,549	△3,457
減価償却費	7,273	7,967
受取利息及び受取配当金	△513	△547
支払利息	668	686
持分法による投資損益(△は益)	△340	△394
有形固定資産売却損益(△は益)	△281	△10
売上債権の増減額(△は増加)	△2,964	2,862
たな卸資産の増減額(△は増加)	866	△719
仕入債務の増減額(△は減少)	3,903	36
その他	2,714	4,704
小計	17,877	11,128
利息及び配当金の受取額	512	547
利息の支払額	△665	△676
法人税等の支払額	△3,461	△3,558
営業活動によるキャッシュ・フロー	14,262	7,441
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△9,874	△9,248
有形固定資産の売却による収入	1,309	81
投資有価証券の取得による支出	△52	△22
貸付けによる支出	△1,620	△545
貸付金の回収による収入	1,173	26
その他	△1,111	△326
投資活動によるキャッシュ・フロー	△10,175	△10,034
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,955	2,849
長期借入れによる収入	1,725	6,673
長期借入金の返済による支出	△1,207	△6,762
配当金の支払額	△805	△671
非支配株主への配当金の支払額	△472	△820
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△1,385	—
その他	△838	△1,025
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,029	243
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3,488	△526
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△431	△2,877
現金及び現金同等物の期首残高	67,252	74,262
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	1,531
現金及び現金同等物の四半期末残高	66,821	72,916

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	輸送用機器 関連事業	情報サービス 事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	152,617	5,052	1,596	159,266	—	159,266
セグメント間の内部売上高 又は振替高	307	833	115	1,256	△1,256	—
計	152,924	5,885	1,712	160,522	△1,256	159,266
セグメント利益	10,342	84	230	10,657	10	10,667

(注) 1. セグメント利益の調整額10百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	輸送用機器 関連事業	情報サービス 事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	156,192	4,898	1,954	163,045	—	163,045
セグメント間の内部売上高 又は振替高	330	1,021	1,010	2,362	△2,362	—
計	156,522	5,920	2,964	165,407	△2,362	163,045
セグメント利益	6,594	99	173	6,868	23	6,891

(注) 1. セグメント利益の調整額23百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。